



【学習目標】

- 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようになる。
- 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。
- 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。

【学習を進めるにあたって】

使用教材		
教科書	「国語六 創造」	(光村図書)
	「小学書写六年」	(光村図書)
副教材	漢字ドリル 漢字らくらくノート	(新学社)
	書写ノート	(新学社)
	よむYOMUワークシート	(読売新聞社)

持ち物		
教科書	ノート	漢字ドリル
漢字らくらくノート	国語辞典	漢字辞典
習字道具	筆箱 下敷き	タブレット

【学習の約束】

- 前日までに学習内容を読み、疑問に思うことに印をしたり、わからない言葉を調べる等予習をしてみましょう。
- 授業では、板書・気づいたこと等をノートに工夫して書きましょう。
- 積極的に発表して、考えを伝え合いましょう。
- ノートやプリントなどの提出期限を守りましょう。
- 学習の用意をわすれないようにしましょう。
- 次の学習の準備をしてから休みましょう。
- チャイムと同時に、授業を始められるようにしましょう。
- 呼ばれたら、大きな声ではっきりと返事をしましょう。
- 席をはなれる時は、いすを入れましょう。

がくしゅうないよう
【学習内容】 (☆は書写) しよしゃ

ぜん 前 期	こう 後 期
<p>○帰^{かえ}り道^{みち}</p> <p>○聞^{かん}いて、考^{かんが}えを深^{ふか}めよう</p> <p>○笑^{わら}うから楽^{たの}しい/時^{とけい}計^じの時^{じかん}間^{ころ}と心^{こころ}の時^{じかん}間</p> <p>○たのしみは</p> <p>○デジ^でタル機^き器^きと私^{わたし}たち</p> <p>○やまなし/イ^いーハ^はト^とブ^ぶの夢^{ゆめ}</p> <p>☆用具^{ようぐ}の準^{じゆん}備^び/用具^{ようぐ}の片^{かた}付^づけ/書^かく時^{とき}の姿^{しせい}勢</p> <p>☆筆^{ふで}の持^もち方^{かた}/タ^たブ^ぶレ^れッ^つト^とを活^{かつ}用^{よう}しよ</p> <p>☆部^ぶ分^{ぶん}の組^くみ立^たて方^{かた}①</p> <p>(三^{みつ}の部^ぶ分^{ぶん})「湖^{みづうみ}」「街^{まち}角^{かど}」</p> <p>☆部^ぶ分^{ぶん}の組^くみ立^たて方^{かた}②</p> <p>☆点^{てん}画^{かく}のつな^ながりと読^よみやす^{やす}さ「ひま^{ひま}わり」</p> <p>☆筆^{ひつじゆん}順^{じゆん}と点^{てん}画^{かく}のつな^ながりと友^{ゆう}情^{じやう}」</p> <p>☆用^{よう}紙^しにあ^あった文^{もん}字^じの大^{おほ}きさ^さと配^{はい}列^{れつ}「名^な月^{げつ}や…」</p> <p>☆伝^{つた}える^{って}、ど^どうい^いうこ^こと?</p>	<p>○み^みん^なで楽^{たの}しく過^すごすた^ために/伝^{つた}えに^くいこ^ことを伝^{つた}える</p> <p>☆書^{しよ}写^{しゃ}ブ^ぶック</p> <p>○『鳥^{ちゆうじゆう}獣^{じゆう}戯^ぎ画^が』を^よ読^よむ</p> <p>○発^{はつ}見^{けん}、日^{にほん}本^{ぶん}文^{ぶん}化^かのみ^みりよ^{よく}</p> <p>○ぼ^ぼく^くのブ^ぶック^く・ウ^うー^うマ^まン</p> <p>○お^おす^すす^すめパ^ぱン^んフ^ふレ^れッ^つト^とを^{つく}ら^う</p> <p>○「考^{かんが}える」とは</p> <p>○大^{たい}切^{せつ}に^したい言^{こと}葉^ば</p> <p>○今^{いま}、私^{わたし}は、ぼ^ぼく^くは</p> <p>○海^{うみ}の命^{いのち}</p> <p>○卒^{そつぎよう}業^{ぎよう}する^{みな}さん^へ</p> <p>☆1^{ねんせい}年^{ねん}生^{せい} 横^{よこ}書^がき^かの書^かき方^{かた}</p> <p>☆2^{ねんせい}年^{ねん}生^{せい} げ^{げん}こ^{こう}う^う用^{よう}紙^しの使^{つか}い方^{かた}</p> <p>☆3^{ねんせい}年^{ねん}生^{せい} て^てが^がみ^みか^かの書^かき方^{かた}</p> <p>☆4^{ねんせい}年^{ねん}生^{せい} は^はが^がき^きの表^{おもて}書^がき</p> <p>☆5^{ねんせい}年^{ねん}生^{せい} 新^{しん}聞^{ぶん}の書^かき方^{かた}の工^く夫^{ふう}</p> <p>☆6^{ねんせい}年^{ねん}生^{せい} ポ^ぽス^すター^たーを^{つく}ら^うと^くきの工^く夫^{ふう}</p> <p>☆書^かき初^そめ「感^{かん}謝^{しゃ}」</p> <p>☆6^{ねんせい}年^{ねん}生^{せい}のま^まと^とめ①②「旅^{たび}立^だち^ちの朝^{あさ}」</p> <p>☆今^{いま}の思^{おも}い^いを^かき^{のこ}す^こそ^う</p>

ひようか かんてん ばめん ほうほう
【評価の観点および場面・方法】

	ひようか かんてん 評価の観点	ひようか ばめん ほうほう 評価の場面・方法
<p>・ 技^ぎ能^{のう}</p> <p>知^ち識^{しき}</p>	<p>習^{なら}った漢^{かん}字^じを正^{ただ}しく書^かく。</p> <p>言^{こと}葉^ばのき^まりがわ^わかる。</p> <p>文^{もん}字^じを丁^{てい}寧^{ねい}に書^かく。</p>	<p>ノ^のー^のト 漢^{かん}字^じら^らく^らくノ^のー^のト 漢^{かん}字^じド^どリ^りル 単^{たん}元^{げん}テ^てス^すト</p> <p>授^{じゆぎよう}業^{ぎよう}の^{よう}す^す 発^{はつげん}言^{げん}・発^{はつびよう}表^{びよう} ノ^のー^のト ス^すピ^ぴー^ち 単^{たん}元^{げん}テ^てス^すト</p> <p>書^{しよ}写^{しゃ}の^{さく}ひん^{ひん} (毛^{もう}筆^{ひつ}・硬^{こう}筆^{ひつ}) ノ^のー^のト 漢^{かん}字^じド^どリ^りル 漢^{かん}字^じら^らく^らくノ^のー^のト</p>
<p>思^し考^{こう}</p> <p>・ 判^{はん}断^{だん}</p> <p>・ 表^{ひょう}現^{げん}</p>	<p>内^{ない}容^{よう}を正^{せい}確^{かく}に読^よみ取^とる。</p> <p>思^{おも}いや考^{かんが}えが^{つた}つた^{つた}よう^{よう}に音^{おんどく}読^{どく}する。</p> <p>筋^{すじ}道^{みち}を^はき^きり^りさ^させて話^{はな}す。</p> <p>話^{はな}し手^ての意^い図^とを考^{かんが}えな^なが^がら聞^きく。</p> <p>自^じ分^{ぶん}の思^{おも}いや考^{かんが}えを^{ゆた}かに表^{ひょう}現^{げん}する。</p>	<p>授^{じゆぎよう}業^{ぎよう}の^{よう}す^す 発^{はつげん}言^{げん}・発^{はつびよう}表^{びよう} ノ^のー^のト よ^よむ^よむ 単^{たん}元^{げん}テ^てス^すト ふ^{かえ}り返^{へん}り</p> <p>音^{おんどく}読^{どく} 音^{おんどく}読^{どく}テ^てス^すト</p> <p>授^{じゆぎよう}業^{ぎよう}の^{よう}す^す 発^{はつげん}言^{げん}・発^{はつびよう}表^{びよう} ス^すピ^ぴー^ち</p> <p>授^{じゆぎよう}業^{ぎよう}の^{よう}す^す 単^{たん}元^{げん}テ^てス^すト(聞^きくテ^てス^すト) ふ^{かえ}り返^{へん}り</p> <p>授^{じゆぎよう}業^{ぎよう}の^{よう}す^す 発^{はつげん}言^{げん}・発^{はつびよう}表^{びよう} 作^{さく}文^{ぶん} ノ^のー^のト ふ^{かえ}り返^{へん}り</p>
<p>お^おも^もた^たい^いと^と組^ぐむ</p>	<p>主^{しゆ}体^{たい}的^{てき}に^{こくご}国^{がく}語^{しゅう}の^と学^{とく}習^くに^と組^ぐむ。</p>	<p>授^{じゆぎよう}業^{ぎよう}の^{よう}す^す 発^{はつげん}言^{げん}・発^{はつびよう}表^{びよう} ス^すピ^ぴー^ち 作^{さく}文^{ぶん} よ^よむ^よむ ノ^のー^のト ふ^{かえ}り返^{へん}り</p>